サイエンスアゴラ2018

# 感染症克服を目指したオールジャパン戦略

**日　時：2018年11月10日(土)**
**午前10時30分 – 12時00分**
**場　所：テレコムセンター8階 会議室B**

入場無料

エボラウイルス病、中東呼吸器症候群、インフルエンザ、ジカ熱、結核、炭疽、トリパノソーマ症等の感染症が、近年のボーダーレスな国際交流により、国境を越えた世界的問題となっています。このような状況において、感染症対策は、発生国のみならず、国際社会が協同して緊急に進めなければならない重要課題となっています。北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター、東京大学医科学研究所、大阪大学微生物病研究所並びに長崎大学熱帯医学研究所は感染症研究教育拠点連合を組織し、感染症対策に貢献するために基礎研究ならびに予防・診断・治療法の開発と実用化研究を推進すると共に、有事の際に感染症の発生現場に赴いて感染症対策に貢献できる体制を整備しました。本出展では、感染症研究教育拠点連合の感染症克服を目指したオールジャパン戦略について各大学の専門家がわかりやすく紹介します。

参加者
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 統括　喜田 宏　教授
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター センター長　鈴木 定彦　教授
北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 副センター長　澤 洋文　教授
東京大学医科学研究所　副所長　川口 寧　教授
大阪大学微生物病研究所　所長　松浦 善治　教授
大阪大学微生物病研究所　感染症国際センター　センター長　飯田 哲也　教授
長崎大学熱帯医学研究所　加藤 健太郎　助教

**感染症研究国際展開戦略プログラム（J-GRID）**

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development
AMED

Japan Initiative for Global Research Network on Infectious Diseases
j-GRID